

## 平成 28 年 6 月 定例教育委員会 議事録

日 時 平成 28 年 6 月 29 日 (水) 開会 16 時 02 分  
閉会 17 時 32 分

場 所 教育委員会室

出席者 教育長 寺岡 悌二  
教育委員 福島 知克 教育委員 (教育長職務代理者)  
高橋 護 教育委員  
小野 和枝 教育委員  
議事録署名委員 福島 知克 教育委員  
教育庁 湊 博秋 教育参事  
三口 龍義 教育次長兼教育総務課長  
篠田 誠 学校教育課長  
永野 康洋 生涯学習課長  
杉原 勉 スポーツ健康課長  
末光 淳二 教育総務課参事  
猪俣 正七郎 学校教育課参事兼総合教育センター所長  
大鳥 悦子 生涯学習課参事  
矢野 淳子 人権同和教育啓発課参事兼学校教育課参事  
三木 武夫 別府商業高等学校事務長  
三宅 達也 教育総務課長補佐兼教育企画係長  
志賀 貴代美 教育総務課長補佐兼指導主事  
大嶋 健司 教育総務課主任  
傍聴人 0名

欠席者 教育委員 明石 光伸 教育委員

議事日程 第 1 議事録署名委員の指名について  
第 2 義務教育費国庫負担制度堅持を求める要望書の提出について  
【議第 38 号】  
第 3 別府市公民館運営審議会委員の委嘱について 【議第 39 号】  
第 4 別府市公の施設の指定管理候補者選定について 【議第 40 号】

報告事項 (1) 別府学編集委員会設置要綱の一部改正について 【報告第 14 号】  
(2) 平成 28 年第 2 回市議会定例会について 【報告第 15 号】

その他 (1) 7 月定例教育委員会の開催日程について

# 議 事 録

## ◎ 開 会

**寺岡教育長** それでは平成 28 年 6 月の定例教育委員会を開催いたします。明石教育委員が私用で欠席でございます。

---

## ◎ 議事録署名委員の指名について

**寺岡教育長** 議事日程第 1 の議事録署名委員の指名について、今回は福島知克委員にお願い申し上げます。

---

## ◎ 義務教育費国庫負担制度堅持を求める要望書の提出について

**寺岡教育長** 議事日程第 2、議第 38 号 義務教育費国庫負担制度堅持を求める要望書の提出について、学校教育課長よりお願いします。

**学校教育課長** 議第 38 号 義務教育費国庫負担制度堅持を求める要望書の提出について、別府市教育委員会所管事務委任規則第 3 条の規定により議決を求めるものでございます。

2 ページをご覧ください。要望書の案でございます。読みながら簡単に説明したいと思います。「少人数教育の推進などの定数改善と義務教育国庫負担制度 2 分の 1 復元および制度の拡充をはかるための、平成 29 年度政府予算に係る要請書」ということで、宛先は一番下にありますけれども、安倍晋三内閣総理大臣ほか大臣等でございます。内容といたしましては、「子どもたちに豊かな教育を保証することは、社会にとってもきわめて重要なことです。日本は、OECD 諸国に比べて、1 学級当たりの児童生徒数や教員 1 人当たりの児童生徒数が多くなっています。」ちなみに、1 学級当たりの児童生徒数は、日本が 31 人、OECD 諸国が 24 人、教員 1 人当たりの児童生徒数は日本が 14.9 人、OECD 諸国が 12.1 人となっております。「また、障害者差別解消法の施行に伴う『障害』のある子どもたちへの合理的配慮の提供、外国につながる子どもたちへの支援、いじめ・不登校等への対応など、学校をとりまく状況は複雑化、困難化しており、学校に求められる役割は拡大しています。また、学習指導要領により、授業時数や指導内容が増加しています。こうしたことの解決にむけて、少人数教育の推進を含む計画的な教職員定数改善が必要です。大分県においては、厳しい財政状況の中、独自財源による小学校 1・2 年生、中学校 1 年生の 30 人以下学級の定数措置が行われています。」ちなみに、別府市の状況ですけれども、小学校 1 年生は標準であれば 28 学級のところが実学級数は 33 学級で、30 人以下学級の影響で 5 学級増えております。小学校 2 年生は（標準）30 学級に対し 35 学級、中学校 1 年生は（標準）23 学級に対し 32 学級ということで、その 3 つの学年においては比較的教室もゆったりしている状

況です。「しかしながら、第7次教職員定数改善計画の完成後10年もの間、国による改善計画のない状況が続いています。自治体が見通しを持って安定的に教職員を配置するためには、国段階での国庫負担に裏付けされた定数改善計画の策定が必要です。一人ひとり子どもたちへのきめ細かな対応や学びの質を高めるための教育環境を実現するためには、国の施策として定数改善にむけた財源保障をすべきです。三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられました。その結果、自治体財政が圧迫され非正規教職員も増えています。」ちなみに別府市の場合は、非正規教職員、いわゆる臨時講師の率ですけれども、今年是小中学校併せて5.6パーセントです。昨年度が10.1パーセント、その前が11.7パーセント、その前の平成25年度が13.1パーセントと一番多かったのですが、教育事務所等との折衝ややり取りで、できるだけ臨時講師の率が下がるようにはしております。それでも、非正規教職員が全体的に増えているのは事実です。「子どもたちが全国どこに住んでも、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請です。子どもの学ぶ意欲・主体的な取組みを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備が不可欠です。つきましては、こうした観点から、平成29年度政府予算編成において下記事項の実現に向け、ご尽力頂きますよう要望します。」ということで、「1. 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1へ復元・拡充すること。」となっております。これにつきましては、大分県教職員組合から要請が出ておりまして、大分県内の各地方自治体についても議会等で認められてこのような要請書を政府に出す方向で進んでおります。以上、よろしく願いいたします。

**寺岡教育長** 何かご質問、ご意見等はございますか。

**福島委員** これは、出せば効果があるんですか。

**学校教育課長** 積み重ねていくしかないかなとは思いますがけれども。

**福島委員** 投げ込みでしょう。

**学校教育課長** はい。

**福島委員** 投げ込みだけで、効果がありますか。

**学校教育課長** その他、全国知事会や市長会等からも要請をいただいておりますので、あらゆる所からこの要望を訴えることによって、実現に向けていくしかないのかなと思います。

**福島委員** 私もよく陳情に行かされるんですけど、行かないとやっぱり駄目じゃないですかね、本当にやる気があれば。投げ込みだけで形が出来れば、それでいいんでしょうけど、議決までしてやるんだから、市長に頼んでやるか、

適当な人に文部科学省に持って行ってくださいと頼むか、ということでもしないと、なかなか投げ込みは実現が難しいのではないですかね。形だけ取ればいいのであれば投げ込みをして、本当に実現したかったら、持って行くか陳情書にまとめ上げるかでしょう。

**寺岡教育長** 以前は（国庫）負担割合が2分の1だったんですね。それが3分の1になって、全国の自治体から、一応議会では議決するようになっています。県によって違うのかもしれませんが、要望書という形で、先ほど学校教育課長が説明したように市長会とか、全国や九州の都市教育長会議でも一応出しています。

**福島委員** 出すんですか。陳情で持って行くんですか、誰かが。

**寺岡教育長** 多分、会長クラスが持っていくと思います。

**福島委員** そうですか、そうであれば。

**寺岡教育長** その他、よろしいでしょうか。  
議事日程第2については、議決ということによろしいですか。

※全会一致で議決

**寺岡教育長** 議第38号は議決ということで、お願いします。

---

## ◎ 別府市公民館運営審議会委員の委嘱について

**寺岡教育長** 議事日程第3、議第39号 別府市公民館運営審議会委員の委嘱について、生涯学習課長よりお願いします。

**生涯学習課長** 議第39号 別府市公民館運営審議会委員の委嘱につきまして、別府市教育委員会所管事務委任規則第2条第1項第7号の規定により議決を求めます。

4ページに候補者の案を掲載しております。1番上と2番目は、別府市小中学校校長会より推薦をいただいておりますお二人について本年変更がございまして、別府市立中部中学校の新谷なをみ校長と、別府市立亀川小学校の田中博之校長を、新しく候補者として考えております。それから、下から5番目から2番目まででございますが、北部地区公民館運営委員会、西部地区公民館運営委員会、中部地区公民館運営委員会、南部地区公民館運営委員会につきましても、委員長が変更になっておりまして、新しい方を候補者に考えております。その他の方につきましては、前回と変更はございません。委嘱年月日は平成28年7月1日（金）からで、任期は2年間で平成30年6月30日（土）までこの15名に委嘱したいと考えておりますので、よろしくご審議のほどをお願いいたします。以上でございます。

**寺岡教育長** ありがとうございます。何かございますか。

**高橋委員** 人選については、私はこのままで反論が無いのですが、ただ1点、委員の任期は2年ということですよ。

**生涯学習課長** はい。

**高橋委員** 教育現場から新谷校長と田中校長が新たにお入りいただくということですが、委員の任期は2年で、2名の校長については現職としては1年しかないわけですから、2年（の任期）を全う出来ないような状況になると思うんですね。できましたら、1期2年というのを担える先生をご推薦いただくという方向にさせていただいた方が、よろしいのではないかなと思います。また来年新しい方に変わらないといけないということを考えますと、別府市小中学校校長会に、次年度からそういう方向で考えてくださいということを、別府市教育委員会から申し上げないといけないのではないかなと思うんですけども。何か、当て職のような感じがするんですね。

**生涯学習課長** ご指摘のとおりだと思います。生涯学習課では、推薦で挙げてきた分をそのまま挙げておりますので、次回以降そういった動きも勘案しながらやっていきたいと思っています。

**高橋委員** よろしくお願ひします。

**寺岡教育長** では、来年度以降はそういう対応をするということで、その他ございませんか。  
議事日程第3は議決ということで、よろしいでしょうか。

※全会一致で議決

**寺岡教育長** 議第39号は議決ということで、お願いいたします。

---

## ◎ 別府市公の施設の指定管理候補者選定について

**寺岡教育長** 続きまして議事日程第4、議第40号 別府市公の施設の指定管理候補者選定についてでございますが、スポーツ健康課長よりお願いします。

**スポーツ健康課長** 議第40号 別府市公の施設の指定管理候補者選定につきまして、別府市教育委員会所管事務委任規則第3条の規定により議決を求めるものでございます。

6ページから12ページにございますが、始めにお手元のカラーのパンフレットで、スポーツ健康課所管でどのような施設があるのかをご説明申し上げて、その後に議決を求める施設についてご説明申し上げたいと思います。まず表紙の左上に『別府スポーツ施設案内』、アルファベットで『BEPPU SPORTS CITY』とあります。このパンフレットは、今年の最新版でございます。

ます。表紙をめくっていただきますと、写真がいくつかございまして、温泉、あるいはジェットコースターといったものが掲載されております。次のページからが施設案内になってございまして、1、2ページが別府市営実相寺パークゴルフ場となっております。こちらにございまして、1ページの上から所在地、問合せ先、施設の概要、使用時間、そして2ページにアクセスや施設の利用料金が掲載されております。次の3ページには別府市営実相寺サッカー競技場、4ページには50メートルプールと飛び込み台を備えた別府市営青山プール、さらに5ページには別府市営市民球場と別府市営実相寺球場、6ページには別府市営野口原総合運動場、そして7ページにあります別府市総合体育館「べっぷアリーナ」、9ページに別府市営温水プールや別府市営体育館「市民体育館」、さらに相撲練習場と別府市営弓道場・アーチェリー場といった約20の施設をこちらに掲載しております。それで、別府市教育委員会が所管していますこれらの施設につきましましては全て公の施設でございまして、その管理運営に関しましては大きく3つに分けられております。まず1つ目は、最初のページにございました別府市営実相寺パークゴルフ場でございまして、これは別府市の直接運営で、スポーツ健康課が予算を取って、職員を雇っております。2つ目につきましましては別府市営弓道場・アーチェリー場と別府市営実相寺サッカー競技場、別府市営野口原総合運動場等で、別府市が管理団体を任意に指定させていただいて、管理運営をしていただいているものです。そして3つ目は「べっぷアリーナ」に代表される、いわゆる指定管理者制度で民間に完全に委託しております。この3つの方法で、現在管理をしています。本日は、来年度施設を管理運営するに当たりまして、指定管理候補者の選定について議決をいただきたいという趣旨でございまして。

それでは、資料の方にお戻りいただきまして、横向きになりますが6ページをお開きください。まず、施設名が別府市営弓道場・アーチェリー場でございまして、指定管理候補者名は別府市弓道会で、非公募とする理由としまして、特定の競技のための施設であり、利用者も特定の者に限定されるので、その競技に精通し、また有効に活用できる別府市弓道会を指定管理者としたいと考えております。次のページで、平成27年度の実績とそれに対する評価がございまして、上の方から、収支状況でございまして、まず収入の所をご覧ください。利用料収入が1,242,432円、その他収入は前年度からの繰越金で85,318円となります。収入の合計が1,327,750円となります。その下の支出でございまして、別府市納付金が248,486円で、これは先ほど申し上げました利用料収入1,242,432円の20パーセント掛けで、このような契約を結んでおり、この額が別府市に納付されます。その下の管理経費として1,038,919円となります。支出の合計が1,287,405円となります。収入合計から支出合計を引きました40,345円は掲載されておきませんが、次年度への繰越金となります。次のページに更に細かく書いておりますけれども、平成29年度から平成33年度までの5年間、引き続き別府市営弓道場・アーチェリー場につきましましては別府市弓道会に任意指定で管理運営をお願いしたいと考えているところでございまして。

続きまして、資料の9ページをお開きください。平成29年度指定管理者募集施設指定方法意向調査票を基に説明させていただきます。まず施設名（グループ名）でございまして、別府市営公園テニスコートほか14施設で、別府市営公園テニスコート以下15の施設名が掲載されております。

現在の指定の相手方は一般財団法人別府市総合振興センターとなっております。指定方法の意向につきましては、公募ということで、今回初めて任意指定ではなく公募でいきたいと考えております。指定意向の理由として、現在一般財団法人別府市総合振興センターに任意指定（非公募）としていますが、公募することにより、「施設の管理に、民間事業者等のノウハウを活用することで、利用者に対するサービスの向上が期待できる」「施設の管理に期間を定め、PDCA サイクルを明確にすることで、サービスの改善に生かすことができる」「指定管理者の選定手続きを公募とすることで、競争原理による管理コストの軽減を図ることができ、行政経費の削減が期待できる」と考えています。指定期間の意向につきましては5年間としたいと思っております。指定期間の理由につきましては、様々な機械等のリース料の削減と雇用の安定を図るため、5年間としたいと考えております。また、備考でございますが、実相寺多目的グラウンドについては、ラグビーワールドカップ 2019 キャンプ誘致に伴い、天然芝の設置工事を行う予定となっております。なお管理運営につきましては、引き続き指定管理者に委託したいと考えております。10 ページに先ほどの別府市営弓道場・アーチェリー場と同じように（15 施設合計で平成 27 年度の）収入と支出がございますので、簡単にご説明したいと思います。まず収入の項をご覧ください。利用料収入が 44,966,820 円、その他収入が 7,218,207 円、指定管理料が 148,138,971 円で収入合計が 200,323,998 円です。支出合計が 196,454,595 円で、収入合計から支出合計を引いた 3,869,403 円につきましては、純利益または減価償却費として使われているという形になっております。ただいま申し上げましたとおり、来年度につきましては、こちらの 15 施設は公募により指定管理としたいと考えております。

最後に、11 ページで別府市営実相寺パークゴルフ場でございます。こちらは現在、別府市の直営となっております。来年度につきましては公募ということで、先ほどの 15 施設と同じようにしたいと思っております。指定意向の理由としましては、直営の施設管理と外注での植栽管理をしているため、維持管理が多分に掛かっているため、指定管理者に芝刈り等の技術とノウハウを伝授していくことにより、維持管理費の削減を図りたいと考えております。指定期間は5年間で、その理由は植栽管理業務のノウハウを身に付け、その技術を活かすためには最低5年間は必要と考えるためです。なお、備考の欄にありますように、今後はネーミングライツの導入についても別途検討してまいりたいと考えております。12 ページにつきましては、（平成 27 年度の）収支状況をご覧ください。収入につきましては、利用料収入が 8,090,230 円、その他収入が 719,010 円です。この 719,010 円は、自動販売機を 2 台置いている関係で上がっております。収入合計は 8,809,240 円となります。支出合計は、管理経費が 22,903,066 円です。支出合計の内訳を簡単に申しますと、植栽の管理に係る経費が 1,450 万円ほど、人件費につきましては約 750 万円、最後に消耗品費が約 90 万円かかっております。今後につきましては、こちらも指定管理に出すことで考えております。以上、3つの施設グループにつきまして、よろしくお願いたします。

**寺岡教育長** ありがとうございます。別府市の公の施設の指定管理候補者選定についてでございます。ご承知のとおり、現在の別府市の方向としましては、民

間のできるところは民間の活力を利用するという姿勢を取っております。その一環としまして、スポーツ健康課長から説明があった施設につきましては、指定管理者制度の方向で考えたいということでございますが、何かご質問、ご意見等をお願いします。

**高橋委員** 別府市営実相寺パークゴルフ場については、早く民間の指定管理者制度（にした方）が良かろうということで、ずっと意見を出して、まとまってきたことですから、それはよろしいと思いますが、別府市営公園テニスコートほか14施設について、あまりにも施設数が多いから、これを一括で1社が担うということは大変ではなかろうかと思うのですが、その点で分散するというようなお考えはございますか。

**スポーツ健康課長** 9ページをご覧ください。施設名はグループに分かれておりまして、別府市営公園テニスコート等の別府市営野口原総合運動場周辺のグループと、もう1つに分かれております。実際、現在は一般財団法人別府市総合振興センターが管理しておりまして、仮に別々の団体が指定管理者となった場合、例えば先般九州地区のソフトボール大会がありまして、後に全国大会もする予定ですが、野球場が1か所だけでは賄えないということになりますから、別府市営市民球場と隣の別府市営実相寺球場、さらに別府市営野口原総合運動場のソフトボール場や野球場で一緒にならないと、大きな大会が運営できないということもありますので、今回は一括して指定管理に出すことを考えております。

**寺岡教育長** よろしいでしょうか。

**高橋委員** わかりました。

**スポーツ健康課長** 追加で、今後のスケジュールだけ少しご説明をさせていただきます。今後は平成28年8月の市報、並びに別府市のホームページから公募という形で出させていただきたいと思っております。その後、平成28年8月の終わり頃に説明会を開催させていただきまして、9月の中旬から下旬にかけて実際に公募の受付を行います。その後、10月、11月に別府市教育委員会でお諮り申し上げまして、議決を受けた後に12月の別府市議会で議案上程して指定管理者を決めるという流れを考えております。以上です。

**寺岡教育長** よろしいでしょうか。非常に大きな転換となると思っておりますので、よろしく願いいたします。議事日程第4については議決ということでよろしいですか。

**※全会一致で議決**

**寺岡教育長** 議第40号は議決いたしました。

---

◎ 報告事項（１）

**寺岡教育長** それでは、本日の報告事項に移りたいと思います。報告事項（１）報告第14号 別府学編集委員会設置要綱の一部改正について、生涯学習課長よりお願いします。

**生涯学習課長** 報告第14号 別府学編集委員会設置要綱の一部改正について、報告をさせていただきます。

14ページをお開きいただきしたいと思います。今回、この別府学編集委員会設置要綱の中での委員数が、当初（第3条第1項で）「10人」という形で設定させていただいておりましたが、広くいろいろな分野の方にご意見を伺うために、「15人」と改めたところでございます。以上でございます。

**寺岡教育長** 別府学編集委員会委員の名簿はありますか。

**生涯学習課参事** すぐお持ちします。

**寺岡教育長** 先日は10名でしたかね。

**生涯学習課長** その時には、まだ委員が決まっておらなかったもので、足しています。

**寺岡教育長** 別府学の進捗状況はいかがですか。

**生涯学習課長** 進捗状況を簡単にご説明いたします。平成28年6月22日（水）に第1回の別府学編集委員会を開催いたしました。その中で、基本的なところをお話いたしましたして、今後業者と契約する中で別途執筆者を選ぶようになります。その方に書いていただいて、業者に原稿を渡し、平成28年11月くらいに第2回の別府学編集委員会を開催しようと考えております、その後、3回ほど校正を経まして、当初平成28年12月に成果品が出来上がりました平成29年1月に一部試行するというような計画でございましたが、事業自体が少し遅れておりますので、平成29年3月末に完成するというところで、計画が後ろの方にずれ込み、平成29年4月から実際に学校の方で使っていただくという形を取りたいと思います。現在はそういう状況です。

**福島委員** 具体的には、どんな中身になるんですか。

**生涯学習課長** 中身は、各学年で生活科の時間等がありますけれども、そこに合わせる形で内容を考えていくようにしております。例えば、小学校1、2年生でしたら、まず生活科の時間では身の周りでどういった植物があるかや、近所でどういった祭りが行われているかを、別府市バージョンという形で掲載するようにしております。内容的には、（さらに）小学校3、4年生、5、6年生、中学生をそれぞれ1つの単位として、全部で4単位に分かれるようになり、歴史だけではなくて、温泉、産業、伝統文化といったあらゆるものを項毎でまとめて、例えば湯の花のことであれば、1つを開けばわか

るような作り方にしたいと考えております。

※生涯学習課参事が出席者に名簿を配布する。

**寺岡教育長** 別府学編集委員会の委員について、少しご説明いただけますか。

**生涯学習課長** 別府学編集委員会委員は、最大 15 名中で現在 13 名でございます。学識経験者は、以前福島委員よりご意見をいただいたのですが、元別府大学学長の豊田寛三氏、それから別府大学の民俗分野から段上達雄教授、それから別府市文化財保護審議会より、自然部門で小田毅委員、歴史部門で清水宗明委員に委嘱しております。それから、学校教育関係者から推薦をいただきまして、別府市立上人小学校の糸永憲司校長、別府市立北部中学校の平野俊彦校長に委嘱しております。それから関係機関ということで、PTAの方からご推薦をいただきました。渕優子春木川小学校PTA会長も編集委員に委嘱しました。その他でございますが、まず民間から、別府市開催のべっふ「感動・共創・夢」会議委員も務められた、NPO法人ハットウオンパクの鶴田浩一郎代表理事で、ホテルの社長でもあります。それから大分合同新聞社の首藤康編集局部長、それから財団法人松本記念児童図書館（おじいさんの杜）の高橋伸子司書、それからまちづくりの関係で平野資料館の平野芳弘館長です。行政の関係では、政策推進課長に予算の関係もありますので入っていただいています。そして、別府市教育庁からは学校教育課長に教育委員会関係の意見をいただくということで、現在 13 名で作業を進めているところでございます。以上でございます。

**寺岡教育長** 委員長と副委員長は、どなたですか。

**生涯学習課長** 委員長は豊田寛三氏、副委員長は鶴田浩一郎代表理事で、互選をしております。

**寺岡教育長** ありがとうございます。

**福島委員** これで文章が出来ますよね、具体的な形で。そして、その文章は本にする前に我々が添削出来るんですか。

**生涯学習課長** 日程の見直しが必要ですが、一応依頼する業者に対しても、そういった文章の手直しを頼みまして、大方の形が出来るのが先ほど申しましたとおり平成 28 年 11 月頃になると思うので、確実とは言えませんが、機会が出来ればと思っております。

**福島委員** 私が心配しているのは、子どもたちがここ（別府市）に居着くのが 1 つの目的なんじゃないかな。

**生涯学習課長** はい。

**福島委員** それで、別府市を故郷とずっと思わせたいということがきちんと出来たら、私は何も言わないですけど、出来るのかなというのがちょっと気になった

ので言っただけです。

**生涯学習課長** その辺りは、先ほど申しましたとおり、出来た時にお見せすることが可能であればいたしたいと思います。

**寺岡教育長** 一応、平成 28 年 11 月の第 2 回別府学編集委員会で。

**生涯学習課長** 平成 28 年 11 月か 12 月くらいになるかと思います。

**福島委員** 目的がはっきりしていて、そうなってれば、別に何も無いです。少し心配なので、(子どもたちが別府市から) 出て行ったら帰ってこないのは面白くないし、別府市が懐かしいなど思わせて、別府市に住みたいなどという文章になっているといいなど思うので。小説家が入っていると一番いいですけれどね、空想等(の表現)が上手いから。小説家はいませんよね。

**生涯学習課長** 小説家はおりません。

**福島委員** どこかに応募したような人はいないですか、芥川賞とかに。そういう人が入っていると、今の目的を言うだけで書ききれぬわけですよ。

**生涯学習課長** その辺りは少し難しいところで、どうしても客観的な部分の裏付けをしつかりしてもらいたいというのがあります。これから執筆部会の専門委員を選びますので、その際に考えたいと思います。

**福島委員** 執筆する委員は別にいるんですね。

**生涯学習課長** 編集委員の中から何名か執筆もしていただきますが、別に執筆していただく方を 4、5 名ほど選ぼうかと考えています。

**福島委員** それはプロではないけれども、小説家みたいな人がいるわけですね。

**生涯学習課長** そこまではまだ人選が進んでいないですけども。

**福島委員** (編集委員の中で) 見た感じでは、大分合同新聞社編集局部長みたいな人は、ちゃんと書けるでしょうね。

**高橋委員** そうですね。

**福島委員** 小説を書くというのは結構難しいですよ、誰でも書けるわけではないし。

**小野委員** 低学年の人にも、文だけではなくて、もっとわかりやすくイラストとかを入れていただかないと、読まないんじゃないですかね。

**生涯学習課長** そうですね。当然文字だけではなくて、イラストや写真といったものも付けながら、ページを割付していくことになります。

**小野委員** 低学年、特に小学校1、2年生というのは、漫画やアニメというわけではないですけど、わかりやすいようにした方が。

**福島委員** そういうのも見てみたいですね。

**生涯学習課長** 1つ言い忘れがありますけれども、同じような内容のDVDを一緒に作ろうと計画しています。大分市が大友宗麟の教材でDVDを作成しておりまして、子どもたちに学習させる時は、まずDVDを10～15分ほど見せて、気持ちが入ってから教材を使うという形を取っているそうなので、同じというわけではないですけども、別府市でも映像を活かした使い方を考えているところがございます。

**小野委員** DVDはどなたが作るんですか。

**生涯学習課長** 本に合わせて、業者が作成します。

**寺岡教育長** 幼稚園児は。

**生涯学習課長** 幼稚園については当初考えていなかったのですが、決定ではありませんが、例えば紙芝居等のように、幼稚園児にちょうどいいと聞いていますが、絵が10～15回ほど変わってナレーションが入るDVDのようなものが出来ないか検討したいと考えております。

**寺岡教育長** よろしいでしょうか。

**教育参事** 先ほど福島委員がおっしゃったように、別府学は学校の教材として副読本的なものも入ってきますので、やはり教育委員の皆様にも1度見せて了解を得るのが筋ではないかと思っております。その辺りのスケジュールも併せて、定例教育委員会でお見せ出来ればいいかと私は思っておりますので、提示したいと考えております。

**寺岡教育長** そういう方向で考えていくということでございます。先日市長とお会いした時に、市長は学校の資料集のようなものではなくてとおっしゃっていましたが、あの件はどういうことですか。

**生涯学習課長** 市長の意図を全部汲みきれているわけではないですけども、いわゆる教科書的なかたい内容は駄目だという考え方だと思います。その点、先ほど申しましたように、写真やイラストを使いながら、読んでみたくなるようなデザインの内容も、それに合わせた形で作っていかうかと思っております。

**寺岡教育長** 従来資料集のようなものではなくて、観光や産業等を意識して、担当課は非常に苦しんでいるようです。

**高橋委員** ですから、福島委員がおっしゃった点も非常に大事になるんですね。生涯学習課長は、以前『別府市誌』（平成15年版）をずっと長い間担当していらっしゃって、作り上げていただいたんですけども、いわゆる資料

集ではないということですから、執筆委員が物凄く大事になると思うんですね。それで、子どもたちがこれを読んだりあるいは見たりしている時に、別府市で生まれて育ってよかったなという思いにさせられるというのは、やっぱり執筆というところではないかと思います。だから、執筆部会の専門委員の選考にはやはり気を遣うんじゃないかと思いますね。その辺りを配慮して考えながら、選任をいただけたらと思います。

**福島委員** 大阪市から船で帰ってきた時に、朝だったら物凄くきれいなんですね、大昔のことですけど。やっぱり別府市に帰ってきたなとかいい所だなとか思わせるような映像があって、そういう物語がきちんとできるようにしないと、作れと言われて作る感じになってしまっていますから。

**寺岡教育長** 市長は、教科書は忘れても、これ（別府学の教材）だけは持って行くような物をとという気持ちがすごくあるようですので、生涯学習課は大変だと思いますが、よろしくお願いします。学校教育課長、（今年度の）3学期に何か動きはありますか。

**学校教育課長** 平成28年6月21日（火）に小学校の国語、生活、総合的な学習の時間を担当する別府市内の指導員を集めまして、別府学についての説明をしました。現在も別府市についての学習はいろいろしております。例えば、地獄めぐりであったり、地域の散策といったことをしておりますので、それを1、2学期で学年毎に一覧表にまとめていき、その中で新しくできる別府学の教材をどのように使っていくか、冊子が出来上がった段階でまた考えていこうということで、現在していることをまとめて、つなげていこうという話し合いをしました。今は各学校、学年でバラバラですので、冊子は来年4月からということですが、3学期から今までしてきたことのまとめが出来ればいいと考えております。現在、北部中学校ブロックの別府市立北部中学校、別府市立上人小学校、別府市立亀川小学校の一部の学年で実施してもらうようお願いをしているところです。それで、先ほどありました編集委員の中に、別府市立北部中学校長と別府市立上人小学校長も入っております。以上です。

**寺岡教育長** というような状況です。

**福島委員** 食べ物も入れてくださいね。特定の（店等の）名前や看板が入ったらいけませんけど、饅頭とかそういう特徴のあるものがいっぱいありますから、そういうのが無いと（頭に）入ってこないですよ。食べることは大事ですよ、惹きつける意味でも。

**生涯学習課長** 『鶴見七湯廻記』の中でいろいろ出てきますので、段上達雄教授が詳しいかと思います。最近の物については、観光課等に確認いたします。

**高橋委員** そうですか。

**寺岡教育長** 非常に夢がある別府学になればと思っています。スポーツ健康課の方も地産地消の給食メニュー等の取組をしています。先ほどの（議事日程第4で

話のあった) 指定管理 (者制度にする予定) の施設も、子どもたちはあまり知らない部分もありますから、幅広い分野から作ろうとしている状況であります。その他、何かございませんか。

**高橋委員** 楽しみにしております。

**寺岡教育長** ではそういうことで、報告第 14 号についてはよろしいでしょうか。

※全委員了承

---

## ◎ 報告事項 (2)

**【概要】** ※平成 28 年第 2 回市議会定例会で教育委員会に関連する議案や質問について、教育参事より市議会の日程、議案質疑、常任委員会 (厚生環境教育委員会) の概要を、各担当課長等より一般質問の概要を、それぞれ説明した。

**寺岡教育長** ありがとうございます。平成 28 年 6 月の平成 28 年第 2 回市議会定例会の議案質疑、一般質問等でございますが、何か特にご意見ございませんか。

**高橋委員** 大変お疲れでございました。私からは 1 点だけ、平成 28 年熊本地震の後の子どもたちの心のケアのために、アンケートを取っていただいたということで、この別府っ子心のケアプロジェクトに関しては、素早い対応が出来て大変評価できるんじゃないかと思えます。ただ、プロジェクトの結果が出て、それから動くというのは考えられないことで、心のケアですから、早急な子どもへの対応というのが望まれますので、カウンセラー等を必要に応じてどんどん派遣出来るような体制を取っていただきたいです。それと並行して、この別府っ子心のケアプロジェクトを進めていって、子どもたちの心の奥底を把握できるような体制を、常に取っておく必要があるかなという思いでございます。今回の平成 28 年熊本地震の後の素早い対応は良かったと思えます。

**スポーツ健康課長** 少しだけ補足説明をさせていただきます。現在、先日取ったアンケート結果を学校に返して、それを学校の先生方が複数の目で見ている、気になる子どもがいれば保護者に連絡して、カウンセラーにつなげていこうという流れを作っております。併せて、別府大学の小野貴美子教授と 2 日前に打ち合わせをさせていただきまして、第 2 回目のアンケートの内容をどうするか、あるいは先生方の研修をどうするかについて意見をいただいております。継続的に 2 回目のアンケート及び会議の準備をしているところでございますので、よろしく申し上げます。

**寺岡教育長** その他、よろしいですか。それでは別府商業高等学校事務長、その後の生徒の状況や移転の状況等について、何かあればお願いします。

**別商事務長** 別府市立別府商業高等学校の生徒については、大分県立別府青山・翔青高等学校の管理棟3階を借用して教室を移転し、授業を行っております。その中で生徒の状況を踏まえると、やはり別府市立別府商業高等学校の土地で卒業式をしたいということがあります。職員室の方も、一応今週いっぱいぐらいで建築、内装工事が共に終わりますので、電話やパソコンが使える環境整備をしまして、早い内に近くの4号館に移動する形で作業を進めております。生徒たちは随分落ち着いて、昨年度よりも遅刻、欠席が少ない状況でございます。それと、今度の平成28年7月13日(水)に全国高等学校野球選手権大分大会で、別府市立別府商業高等学校の予選1回戦がございます。それにも全校生徒で応援に行こうということで、練習も始めて、みんなで一丸となって卒業に向かって進む形になっております。現在、就職、進学に向けても、それぞれの生徒が考えながら進んでいる状況でございます。以上でございます。

**寺岡教育長** ありがとうございました。空調機器設置や統合中学校につきましては、担当課で着々と進めて対応しておりますので、よろしく申し上げます。生涯学習課長、別府市美術館は閉館ですか。

**生涯学習課長** 別府市美術館でございますが、平成28年熊本地震の影響、それから老朽化の影響で、平成28年7月1日(金)からは、企画展、それから絵画教室につきましては、別府市野口ふれあい交流センターで当面の間行うという形にしております。一応、平成29年3月末までそういう形を取りますが、以降につきましては、今年やります図書館・美術館一体的整備事業の中での協議とも併せまして、方向性を定めたいと思います。それと、別件のお知らせですが、よろしいでしょうか。

**寺岡教育長** どうぞ。

**生涯学習課長** お手元にお配りしております緑のチラシでございます。平成28年度平和を考える市民の広場ということで、平成28年8月9日(火)「別府市公会堂」2階の(別府市市民会館)大ホールで実施します。毎年、講演と映画を交互にやっております。今年は「ジョバンニの島」という映画を上映いたします。以上でございます

**寺岡教育長** ありがとうございました。報告事項(1)についてはよろしいでしょうか。

※全委員了承

---

## ◎ 閉会

**寺岡教育長** 何か総合的にございますか。よろしいですか。  
以上をもちまして、平成28年6月の定例教育委員会の日程を全て終了いたします。お疲れ様でした。ありがとうございました。

- 
- 発言の内容について、単純ミスと思われる字句、重複した言葉づかい等を整理の上作成しています。